

平成 29 年 12 月 13 日

各 位

会社名	株 式 会 社	原 弘 産
代表者名	代表取締役社長	岡 本 貴 文
	(コード番号 8894 東証第 2 部)	
問い合わせ先	取 締 役	津 野 浩 志
電話番号	0 8 3 - 2 2 9 - 8 8 9 4	

### 営業損失、並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社が保有する販売用不動産に計上されている不動産について、簿価を下回る価格で売却することを決議したことにより、平成 29 年 10 月期決算において、たな卸資産評価損を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、特別損失として、固定資産の減損損失を計上することとなりましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業損失（たな卸資産評価損）の計上について

##### (1) 当該物件の売却に至った経緯

当該物件は、平成 15 年 10 月に取得した元カーディーラーが保有していた物件です。当時、再開発による資金化を目指しておりましたが、不動産市況の低迷から断念しました。売却が思うように進まない状況が続いている中、コンテナを設置する等して家賃収入を得ておりました。

このような状況下、当該物件の売却交渉において、直近では最も良い条件が提示されました。簿価を下回る価格での売却のため、たな卸資産評価損 23,300 千円を計上することとなりますが、有利子負債を圧縮でき、金利負担を軽減できます。また、コンテナ等から家賃収入を得ておりますが、固定資産税の支払い等を差し引くと、資金繰りへの影響は軽微であります。これらの理由から、再建に向けた過去案件の処理として、当該物件の売却を決定いたしました。

なお、その他の販売用不動産においても、帳簿価額を正味売却価額まで減額したことにより、2,127 千円を計上するため、合計 25,427 千円のたな卸資産評価損を計上することとなります。

##### (2) 当該物件の内容

所在地 山口県下関市一の宮東町 440 番 2 他

##### (3) 売却価格及び売却先の概要

売却先からの申し入れにより、売却価格及び売却先の公表を控えさせていただきますが、売却価格については、当社の直前事業年度（平成 29 年 2 月期）における売上高の 10%以下となります。なお、売却先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者等について

特記すべき事項はありません。

(4) 譲渡の日程

取締役会決議	平成 29 年 12 月 13 日
契約締結	平成 29 年 12 月下旬（予定）
物件引渡日	平成 29 年 12 月下旬（予定）

2．特別損失の内容

本日公表いたしました「平成 29 年 10 月期決算短信」のとおり、営業活動から生じた損益の継続的なマイナスの計上により減損の兆候が認められるものとし、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討いたしました。その結果、当社が保有する固定資産（土地、建物等）について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失 989,937 千円を特別損失に計上することといたしました。

なお、当該減損損失の計上により、来期以降に関しましては、固定資産の償却負担が軽減される見通しであります。

3．今後の見通し

業績予想につきましては、本日公表しました「業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上